



SANKAKU LETTER

共に学び、共に働き、共に築く

NOV.1
18
2015

・日経PBL2015 理工系女子学生が
HONDAと富士通FSASと
課題解決型プログラムを実施



HONDA
チーム



伸ばそうリケジヨ PJ

“日経 PBL2015” 理工系女子学生が HONDA と富士通 FSAS と共に課題解決型プログラムを実施

昨年度に続き、「ダイバーシティ&イノベーションフォーラム～女性が活躍する社会の実現と教育&組織変革（※1）」の一環として、本学の理工系女子学生が「課題解決型プログラム PBL（※2）」に参加し課題に取り組みました。その模様を紹介します。

本年度の特徴

1 1社から2社へ！

昨年はNISSANと取り組んだこの企画、本年度はHONDAと富士通FSASの2社と、共に2つの異なる課題に取り組みました。

2 世田谷キャンパスと 横浜キャンパスの混合チーム

昨年は世田谷キャンパスの理工系女子学生を対象としてスタートしたPBLですが、本年度は一步進んで文理融合学科のある横浜キャンパスからも女子学生が参加！

富士通 FSAS
チーム



（※1）ダイバーシティ尊重の社会構築に向け、大学と企業の協力を得て、教育活動を支援し、明日の日本を牽引する女性人材の輩出を目指す目的で、2014年4月より立ち上がった企画。主催/日経BPヒット総合研究所 後援/日経WOMEN （※2）企業から提起された課題に対し、その解決を目標に学生が主体的に解決策や提案作成を行う事を通じて、発見や気づきの機会を提供するもの。

▶主なスケジュール

オリエンテーション

会社訪問で理解を深めてから、テーマとチームが発表されました。

ワークショップ4回

チーム別に話し合いを進めます。規定の集まり以外にも自主的に集まって話し合いを行いました。

プレゼンテーション

いよいよ発表！達成感でいっぱいのプレゼンテーションになりました。

▶ファシリテーター



今回、学生の指導をしていただいた猪又優さん。大変貴重なお話をたくさんありがとうございました！

▶チーム HONDA

テーマ：社会環境の変化を見据えた未来のモビリティ



初めて会った学生同士で何かをやり遂げるということは普段経験できないことであり、その機会を与えて頂いたことにとても感謝しています。

環境学部 環境マネジメント学科3年 下出 萌花



人前で話すのはとても苦手だが、話し合いにより班員との信頼関係を育むことで、自分の提案を自信を持って推すことができた。貴重な経験だったと強く感じている。

工学部 機械工学科3年 岸 柚紀



他キャンパス・他学部の学生と交流するだけでなく、意見を出し合うことができ多くの視点から問題を見ることができてよかった。気付きや発見が沢山ありました。

メディア情報学部 社会メディア学科3年 古場 結名



本田技研の普段見られない研究環境を間近に見ることができ良かった。普段関わらない女子とグループワークが出来、課題内容も学科とは少し違い新鮮だった。

工学部 機械システム工学専攻 M1 高橋 愛実



本田技研の社内を見学させて頂いた事、グループワークでたくさんの意見を出し合っでより良い企画になっていく過程が、製品を企画していてとても楽しかったです。

メディア情報学部 社会メディア学科3年 山崎 愛実



プレゼンをする力だけでなく、自分の考えを人に伝える力を今回身に付けられるきっかけになったので、もっともっとその技術を磨きたいと思いました。

メディア情報学部 社会メディア学科3年 小島 櫻子



進め方は入社した会社の方針にもよるとは思いますが、「わいがや」の精神を忘れずに今回の経験や学んだことを生かしたいなと思っています。

工学部 機械工学科3年 中村 紗和子



どんなことに対しても挑戦してみることや視野を広げることは研究を進める上で新しいアイデアを取り入れることにつながると考えています。

工学部 生体工学専攻 M1 本郷 実希

▶チーム 富士通 FSAS

テーマ：「学び」をテーマにした新ビジネス



様々な人にアドバイスをもらうことで自分だけでは見えない視点から沢山のことが学べた。よって自分を成長させることができた。

メディア情報学部 情報システム学科3年 一色 美希



グループワークとして物事を進めていくということは大学生活の中にもあると思うので、グループの話し合いの展開の仕方を、今後活かしていこうと思います

工学部 エネルギー化学科2年 下田 裕美



ひとつのことについて深く考えることで、それまでとは違った視点で物事が見られる事がわかった。もっと色々なことを考えながら生活して視野を広げていきたいです。

工学部 機械工学科2年 寺西 優



このプログラムを通して得た「発言する。」「説明する。」「聴衆を見る。」などを活かす場面が出てきたら、思う存分活かしていきたいです。

工学部 都市工学科3年 野口 智代



調べる・考えることの楽しさを改めて学ぶことができました。また、多くの方々前で発表させていただいたことで、まだまだですが誰かに伝える力を学びました。

工学部 エネルギー化学科2年 稲村 萌々



今後、この企画を通して学んだことや自分に足りない気づいたことを生かしていけたらと思います。忘れずに大切にしていきたいです。

メディア情報学部 情報システム学科3年 加藤 鈴花



理系なのでプレゼンをする機会があまりなく、今回学んだことを生かして一目置かれるようなプレゼンができるようになればいいなと思う。

工学部 機械工学科2年 田端 絵里香

今回のPBLについて、11月28日発売予定の
日経WOMEN別冊にて紹介されます。お楽しみに！